



資料No.4

令和7年4月3日

報道各位

勝山市 商工文化課

勝山城博物館・まほろば・ゆめおーれ 御開帳記念特別展について

みだしの件について、5月23日（金）～25日（日）に行われる平泉寺白山神社の三十三式年祭(三十三年御開帳)にあわせて、下記の特別展を開催しますのでお知らせします。

記

1. 勝山城博物館（勝山城博物館・勝山市連携第11回共催展）

- (1) テーマ 白山と平泉寺を訪れた人びと—御開帳を中心に—
- (2) 会 期 令和7年4月26日（土）から令和7年8月31日（日）まで
*前期：4/26～6/3 後期：6/5～8/31(展示品が一部変わります)
*毎週水曜日休館
- (3) 趣 旨 江戸時代以降の文書や絵図を展示し、平泉寺開帳の歴史やにぎわいの様子をご紹介します。また、後期では江戸時代の紀行文から白山への道のりや服装・持ち物など登頂の様子もをご紹介します。
- (4) 入館料 一般1,000円、小中学生500円（市在住、団体20名以上2割引き）

2. 白山平泉寺歴史探遊館まほろば

- (1) テーマ 石づくりのまち・中世平泉寺—「中世宗教都市」と技術・くらし—
- (2) 会 期 令和7年4月26日（土）から令和7年9月28日（日）まで
- (3) 趣 旨 中世宗教都市平泉寺の石積みや石畳道など石を用いた技術や、僧侶たちのくらしの実態を発掘調査資料から紹介します。

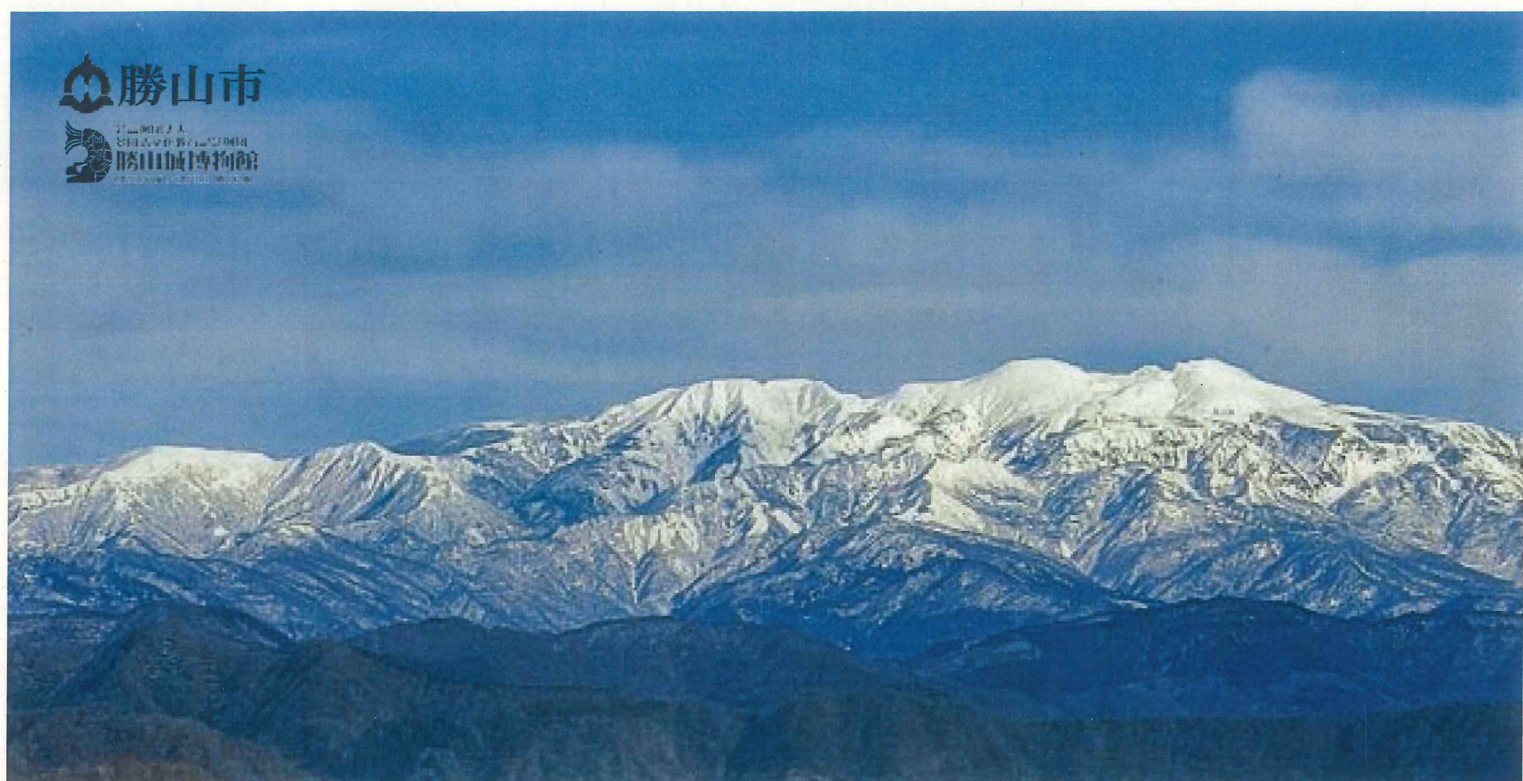
3. はたや記念館ゆめおーれ勝山

- (1) テーマ 近代勝山の産業—たばこ・生糸・織物—
- (2) 会 期 令和7年4月26日（土）から令和7年9月28日（日）まで
- (3) 趣 旨 勝山の町中が江戸時代から明治時代に移りゆく中で広がりを見せるとともに産業の中心となっていた歴史を紹介します。
*毎週水曜日休館

問い合わせ先

商工文化課 文化財活用係 担当 松村、出口
TEL:0779-88-8113 FAX:0779-88-0119
e-mail:shiseki@city.katsuyama.lg.jp

勝山城博物館 担当 米澤
TEL:0779-88-6200 FAX:0779-88-1999
e-mail:castle@katsuyamajyou.com



白山と 平泉寺を訪れた人びと

勝山城博物館&勝山市 連携第11回共催展

—御開帳を中心に—

2025. 4.26(土) ▶ 8.31(日)

前期:4.26(土)~6.3(火) 後期:6.5(木)~8.31(日)

開館時間: 9:30 ~ 16:30(入館は 16:00 まで) 休館日: 8月13日をのぞく水曜日

入館料: 一般 1000円 小中学生 500円

勝山城博物館4階企画展示室

*展示品が一部変わります

*勝山市在住の方は住所の分かるものの提示で2割引
*団体 20名以上で2割引



白山と 平泉寺を 訪れた人びと

— 御開帳を中心に —

平泉寺は、奈良時代に越前の僧
泰澄が創建したと伝わる白山信仰の
拠点寺院です。平安時代以降は、宗
教活動をはじめ、地域にさまざまな
影響力を持ち続けました。明治時代
初めの神仏分離により白山神社とな
りますが、現在は杉並木と苔があり
なす荘厳な景観が訪れる人びとを
魅了しています。

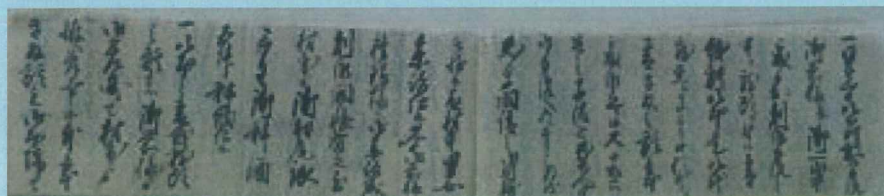
令和7年5月、白山神社では三十
三年ぶりに本社などの開帳が行われ
ます。これを受けて本展では、江戸
時代以降の文書や絵図を展示し、平
泉寺開帳の歴史やそのにぎわいの様
子について紹介します。また、後期
では、江戸時代以降の紀行文から、
白山登山の道のりや、登頂の様子を
はじめ、服装や持ち物など、当時の
人びとがどのように白山に登っていた
のかを紹介します。



『平泉寺参詣之記』 早稲田大学図書館所蔵



「平泉寺村と四至内七ヶ村山論絵裁許図 写し」
平泉寺区所蔵



『権現様於御宝雨請一卷』 平泉寺区所蔵

関連イベント 申し込み先 Tel.0779-88-6200 (勝山城博物館)

*参加費は無料ですが、館内イベントについては、入館料が必要となります。

*見学会・講演会は、事前電話申し込みが必要です。

5月17日(土) 9時～ 集合場所：勝山城博物館駐車場 定員：30名

見学会「平泉寺町まちづくり碑をめぐる」 講師：山田 雄造 (勝山市商工文化課)
2時間程度歩く予定です。動きやすい格好でご参加ください。

6月 7日(土) 13時30分～ 当館2階障壁画ホール 定員：30名

講演会「平泉寺の景観(仮)」 講師：山田 雄造 (勝山市商工文化課)

7月19日(土) 13時30分～ 当館2階障壁画ホール 定員：30名

講演会「江戸時代以降の白山登山(仮)」 講師：米澤 百代 (勝山城博物館 学芸員)

4月26日・8月23日(土) 14時～ 当館4階企画展示室

展示解説 解説員：米澤 百代 (勝山城博物館 学芸員)

最新の情報は当館ホームページをご確認ください。



「大正15年白山神社三十三式年大祭ポスター」
個人蔵

アクセス

【公共交通機関】 福井駅からえちぜん鉄道かつやま永平寺線で勝山駅下車
→市内循環バス「ぐるりん南部方面」「平泉寺猪野瀬予約便」
「恐竜バスダイナゴン」にて「勝山城博物館」下車、徒歩3分
→タクシーで10分

【車】 中部縦貫自動車道勝山インターチェンジより国道157号線を東へ15分
(無料駐車場あり)



公益財団法人
勝山文化財団
勝山城博物館
〒911-0822
福井県勝山市
平泉寺町平泉寺 65-26-1
Tel.0779-88-6200



石づくりのまち 中世平泉寺

平泉寺三十三年御開帳記念
白山平泉寺歴史探遊館まほろば特別展

主催／勝山市

～「中世宗教都市」と
技術・くらし～

[展示会場]

白山平泉寺歴史探遊館まほろば

会期 2025 **4.26**(土) ▶ **9.28**(日)

■ 入館無料・会期中無休

■ 開館時間 9:00～17:00

〒911-0822 福井県勝山市平泉寺町

平泉寺66-2-12 TEL:0779-87-6001

中世・宗教のまち
石が 福井・勝



平泉寺三十三年御開帳記念
白山平泉寺歴史探遊館まほろば特別展

石づくりのまち 中世平泉寺

「中世宗教都市」と技術・くらし

- 令和6年、平泉寺では12年ぶりの発掘調査が行われ、新たに中世の石垣が発見されました。
- この新発見を多くの方に知って頂くため、本展では平泉寺を特徴付ける石垣や石畳道など石を用いた技術について、発掘調査の成果を活かした展示をします。
- また、そのような石づくりの「中世宗教都市」でくらす僧侶たちの日々にスポットを当て、食生活(漆器碗、箸、陶磁器碗・皿、調理具など)や、喫茶・座敷飾りに関わる中世平泉寺に特徴的な出土品を展示します。
- 令和7年は、平泉寺の33年に一度の御開帳が行われる記念すべき年。このような年であるからこそ、日本遺産に認定された中世の平泉寺境内の大きな特徴である石垣や石畳道、中世寺院でのくらしぶりについて考古学の調査成果からご紹介します。

[展示会場]

白山平泉寺歴史探遊館まほろば

- 2025年4月26日(土)～9月28日(日)
- 入館無料・会期中無休
- 開館時間 9時～17時

〒911-0822 福井県勝山市平泉寺町平泉寺66-2-12
TEL:0779-87-6001

〈交通案内〉

電車で:JR福井駅からえちぜん鉄道勝山駅下車、
路線バスで20分

車で:北陸自動車道/福井北IC・JCTから中部縦貫
自動車道/勝山IC下車で約15分



ゆめおーれ勝山 企画展
平泉寺三十三年御開帳記念

近代勝山の産業

～ たばこ・生糸・織物 ～

勝山のまちなかは、江戸時代から明治時代にかわっていく中で、大きく広がりを見せるとともに、産業の中心となっていました。

近代の勝山で盛んに行われた産業である、たばこや生糸、そして織物についてパネルで紹介します。

4.26(土)



9.28(日)

場 所 ゆめおーれ勝山
歴史ギャラリー

期間中、3期に分けて たばこ・生糸・織物についてそれぞれ展示します。第1弾(4/26～)は、たばこ産業がテーマです。

詳細は公式 SNS 等で紹介していきます。お楽しみに！